

外 輪

H27.12.24(木) 発行 文責:上田

二学期の終業式



子どもたちの成長が喜びです

80日間の2学期が、本日の終業式で終わりました。

8月の始業式で子どもたちに『一つの言葉』という詩を紹介したことを、この『外輪』N010でもお知らせしました。自分が言われてうれしい言葉を学校中に広げようと子どもたちにも話し、私自身もこの2学期の間、特に心がけてきました。

2学期を振り返ると、運動会や郡市陸上記録会、人権子ども集会、修学旅行、中・北部音楽会、子ども芸術祭、収穫祭…で子どもたち同士、先生方と子どもたち、あるいは親御さんと子どもとの間で、「ありがとう」「がんばったね」「すてきだよ」という言葉がたくさん聞かれました。期待と感謝の気持ちが感じられる言葉は、子どもたちを大きく成長させてくれます。子どもたちに人の温かさを感じさせてくれる親御さんや地域の皆様の存在が、私たち学校教職員には心強くも感じられます。この2学期、いろんなどころで子どもたちを見守っていただきましたことに感謝申し上げます。

「言葉は人間の宝物です。言葉があるからこそ人間が人間になるのです。ですから、それを豊かに使えるということは人間として深く細やかで人間らしいということではないでしょうか」(大村はま)という一節が、あらためて私の心に響きます。

さて、明日から年末・年始をはさむ冬季休業に入りますが、子どもたちの家庭や地域でのくらしも保護者や地域の皆様に見守っていただきますようお願い申し上げます。

閉校実行委員会へのご協力ありがとうございます

2学期後半からは、閉校記念誌の写真提供など、閉校記念事業へのご協力をいただいております。PTAの保護者の皆さんには、仕事後の夕刻から学校に集まっただき各部会の作業にも関わっていただいております。一つ会議を行うにも多くの方々はその準備を進めていただかなくてはならず、本当に頭の下がる思いがしております。ありがとうございます。

現在、記念誌部会では卒業生名簿、卒業学年写真等の編集作業が、式典部会では記念碑施工や式典次第にそった準備が進められています。限られた日時の中で、閉校委員会や部会顧問の地域の皆様にもお世話になっております。

私も可能な限り各部会に参加するようにしていますが、どの部会も活気に満ちていて圧倒されることもしばしばです。正直、こんなにお力添えいただけたとは思ってはいませんでした。尾ヶ石東部小校区の皆さんの本校への熱い思いがうれしくてなりません。

3月5日(土)、ご案内のように閉校式典を開催します。多くの皆様の来校をお待ちしています。記念誌予約は1月15日までです。お忘れなく。

